

被災地支援活動から学ぶ 「市民活動」・「情報発信」

2012年3月8日(木) 18:30～20:30

東日本大震災から1年。本当の支援のあり方について、考えさせられる1年でした。現在も支援活動を継続しながら、積極的に情報発信を行っている2団体のお話から、これから自分達ができることを考えていきます。その他にも支援活動を行った団体の紹介も行います。



第1部 「東日本」から学ぶ、これからの市民活動

基調講演 山岸 秀雄 協働ステーション中央・センター長、(特活)NPOサポートセンター理事長
法政大学法学部教授

第2部 震災から1年、活動における情報発信のポイント

事例報告 「“東北復興応援サイト” KIDS DOOR復興NET」 キッズドア 理事長 渡辺 由美子
「震災支援状況報告ブログ」 セカンドハーベスト・ジャパン 事務局長 大竹 正寛

- 対象者：中央区在住・在勤・在学の方
被災地の支援活動に興味がある方、自分にできることを考えている方
- 会場：協働ステーション中央 (中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階) ※会場への詳しいアクセスは裏面をご覧ください。
- 定員：50名(先着順)
- 参加費：無料
- 主催：中央区、協働ステーション中央

お申込みは、裏面の参加申込書に記入の上、FAX、郵送、持参でお申込みください。
E-mailの方は、各項目を記入の上、送信してください。

協働ステーション中央 TEL. 03-3666-4761(受付10:00～19:00) FAX. 03-3666-4762

協働ステーション中央は、(特活)NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。

3月8日 協働ステーション中央<シンポジウム 参加申込書>

氏名	ふりがな	所属名 あれば記入
	(歳)	
住所	〒 —	
連絡先	TEL. ()	FAX. ()
	E-mail	
中央区に	在住 在勤 在学	会社名 学校名

※お申込みの際にいただいた個人情報は、協働ステーション中央からのご案内の目的以外には使用いたしません。

第1部 基調講演



山岸 秀雄(やまぎし ひでお)
協働ステーション中央・センター長
(特活) NPOサポートセンター 理事長
法政大学法学部教授

1946年生まれ。法政大学社会学部卒業、日本電信電話公社(現NTT)、(株)第一書林社長、(株)第一総合研究所所長を経て現在に至る。文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会委員、内閣官房地域活性化伝道師、中央区協働推進会議副会長。編著書:『アメリカのNPO—日本社会へのメッセージ』『産官学民NPOプラットフォーム』『イギリス非営利セクターの挑戦』『ソーシャル・エンタープライズ』他。

特定非営利活動法人
NPOサポートセンター

1993年から中央区銀座で、日本最初の民設民営のNPO支援組織として誕生。アドボカシーと人材育成を活動の柱として、NPOによる新しい社会システムの構築を目指して活動を続けている。区内の活動としては、2010年4月から、中央区からの事業委託により「協働ステーション中央」を運営。区内の町会・自治会、ボランティア団体、NPO法人、企業の社会貢献活動等からの各種相談を昨年度は200件以上受ける。その他、人材育成・事業構築等を、NPO支援組織の実績を活かし、支援を行っている。

URL: <http://www.npo-sc.org>

第2部 事例報告



渡辺 由美子(わたなべ ゆみこ)
(特活) キッズドア 理事長

千葉大学工学部卒。大手百貨店、出版社等を経てフリーのマーケティングプランナーに。同時に2児を出産し、日本での子育ての難しさを実感する中、2001年家族で1年間のイギリス生活を体験し、イギリスやヨーロッパの子育て環境に触発される。準備期間を経て、2007年1月、任意団体キッズドアプロジェクトを立ち上げ、こども支援活動を開始。2009年10月内閣府より認証を受け設立。教育格差や日本の子どもの貧困問題にいち早く着目し、支援を行っている。

特定非営利活動法人
キッズドア

「すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現」を目指して、日本国内での子ども支援活動を実施。教育格差の解消を図るための学生ボランティアによる学習支援活動や、体験活動を行っている。現在は700名ほどのボランティア登録生があり、塾に行けない中3生のための都立高校受験対策講座[タダゼミ]、外国から来た児童生徒の学習支援のための学習応援ゼミ、学童保育での学習支援や夏休みイベント等を実施している。東日本大震災以降は、東京に避難している母子の支援や、仙台にキッズドア東北事務所を設け、福島、宮城、岩手の3県で学習や遊びの支援、心のケアの活動を行っている。



大竹 正寛(おおたけ まさひろ)
セカンドハーベスト・ジャパン
事務局長

日本で大学を卒業後、カリフォルニア州立大学へ留学。国際関係論を学ぶ。同大学大学院単位取得退学。留学先で9.11アメリカ同時多発テロ事件を経験。その時出会った友人を通じて本場のフードバンクを知る。帰国後、専門商社へ入社。2008年3月より現職。3.11東日本大震災の3日後に仙台に入り現地のフードバンク団体と連携し支援を開始する。フードバンクを日本社会に広げるため全国を奔走中。

セカンドハーベスト・ジャパン

日本では毎年約900万トン(コメの年間生産量と同じ)ものまだ食べられる食品が廃棄されている。一方で食事を十分に確保できない人たちが日本に85万人以上います。私たちは、そうした「もったいない食品」を引き取り、必要とする人たち(福祉施設や生活困窮者等)に届けるフードバンク活動をしている。東日本大震災直後から被災地に食料などの支援物資を運搬しており、2012年1月25日現在、被災地への支援便は120回を超える。社団法人日本パブリックリレーションズ協会(日本PR協会)が行っている2011年度PRアワードグランプリのソーシャル・コミュニケーション部門において、最優秀賞を受賞。

<申込み・問合せ先>

TEL.03-3666-4761 (受付10:00~19:00)

FAX.03-3666-4762

E-mail, csc-info@npo-sc.org

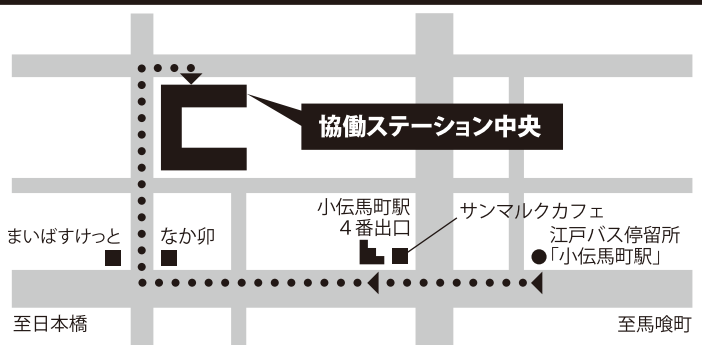
協働ステーション中央

住所: 中央区日本橋小伝馬町5-1 十思スクエア2階

開館時間: 火曜~日曜 10:00~19:00

休館日: 月曜、年末年始、施設点検日

協働ステーション中央は、(特活) NPOサポートセンターが中央区からの事業委託により運営しています。



東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅4番出口から徒歩3分
江戸バス北循環「小伝馬町」駅下車徒歩4分